



# 建学の精神は「感動の教育」。燃えよ、価値あるものに」がモットー 文化学園大学杉並高等学校



高校紹介の第3回は、文大杉並高の松谷茂(まつたに・しげる)校長先生からお話を伺いました。

## ★概要

大正15年、JR中央線の荻窪と阿佐ヶ谷の中程にある地に設立された城右高等女学校は、昭和49年に文化女子大学の附属杉並高等学校となり、平成23年に現在の校名「文化学園大学杉並高等学校」に変更しました。長く女子校でしたが、4年前の平成30年に男女共学となり、令和3年度の生徒数は男子298、女子633の計931人です。「感動」を大切にし、「価値あるものに燃える3年間に！」と、感動体験を通して物事の本質をしっかり思考し、自分なりの考えを持つことを目指しています。

## ★文大杉並高校の特色

文大杉並高で一番の特色は、日本とカナダの両方の高校卒業資格を取得できる「ダブルディプロマコース」で、ハイレベルな英語の活用力を磨くことが可能になります。このコースは平成27年に日本で初めて開設されました。ダブルディプロマコースは、カナダ・ブリティッシュコロンビア州の教育で、世界50カ所ほどに海外校があり、文大杉並もその一つです。生徒はカナダと日本の両方のカリキュラムの授業を受け、卒業生は英検1級か準1級の実力を身に付けており、何名かはカナダやアメリカ、ヨーロッパの大学に進学しています。



ダブルディプロマコースの卒業式

ほかに「特進コース」と「進学コース」があります。特進コースは難関大学受験に対応した5教科7科目を学び、春や夏の長期休暇中には「合宿勉強会」を開き、受験生の土台作りをしています。

進学コースは、多様な進路に対応したカリキュラムで、生徒の夢や希望の実現を目指しています。系列の文化学園大学を希望すれば推薦入試で入ることができます。文化学園はファッションでは日本一、世界で2位のお墨付きをもらい、ファッション界をリードしてきたコシノジュンコさんや、故高田賢三さんらが卒業生です。文大杉並高からは生徒全体の15%ほどが進学しています。

## ★コロナ禍での活動

生徒全員がタブレットを持っており、コロナ禍で登校できない場合には全部の授業をオンラインで実施してきたそうです。クラブ活動もコロナ禍で制約を受けていますが、運動系ではソフトテニス、卓球、バスケットボールなどが全国大会に出場し活躍しています。

文化系では、放課後にロボットを作ったり、農家と一緒に勉強することや、企業ともコラボしてプログラミングを発表するなど、芸術分野も融合させた「STEAM（科学・技術・工学・芸術・教養・数学）教育」で教科の枠を超えた課題解決学習に取り組んでいます。



STEAM活動も盛ん



ファッションショー

## ★松谷校長の思い

松谷校長は、「自分で物事を考えて、判断し行動できる人間を創りたい」との強い思いを持っています。社会がどんな状況でも、高い目標を立て、挫折してもそれを乗り越えて頑張る力や、仲間を大切にして取り組む力を育てることに力を入れているそうです。スーパー生徒ではなくても、コツコツと真面目にしっかりと取り組む生徒を大切にしながら、しっかりと育てていくよう心掛けおられます。

## 文化学園大学杉並高等学校

住所:〒166-0004 杉並区阿佐谷南3-48-16 電話:03-3392-6636  
ホームページ:<https://bunsugi.jp>